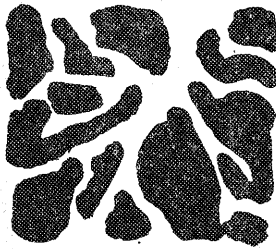


保育計画の実践

お茶の水大附属幼稚園

市川学園



保育計画の実践について、今月より連続していろいろの方に書いていただくことにしました。

カリキュラムとか、保育

計画とかいうと、とかく計画だおれになったり、実際上に無理ができたりしがちなものです。保育計画とはもともと実践と表裏のものであって、別々のものではないはずで、実際に合わないような保育計画はよくないし、また保育計画は実際にうつすことによって肉をつけられ、また変化向上してゆくものです。そのような計画は何をもとにして立てるでしょうか。また、実際にどのような計画がどのように実践されるのがよいのでしょうか。長期にわたる計画は一日の生活の中にどのように実行されてゆくでしょうか。

堀合 文子

私の保育記録の一片……十月のある一日をご紹介します。私が、保育の進行をみていただくには、その周囲をとりまく種々の環境を御紹介いたします。

○幼稚園名 お茶の水女子大学文教育学部附属幼稚園。

○幼稚園所在地 東京都文京区大塚町三五。

○保育室の広さ

縦、四間 横、五間。二十坪

保育室の構造は保育室の状態の所を参照。

○幼児年令。四才児

六月生れのもの 女子一名

八月生れのもの 男子二名 女子三名

九月生れのもの 男子二名 女子三名

十月生れのもの 男子二名 女子二名

十一月生れのもの 男子四名 女子六名

十二月生れのもの 男子一名

一月生れのもの 男子四名 女子二名

二月生れのもの 女子一名

三月生れのもの 男子二名

○編成の状態

・在籍数 三十五名(男子十七名。女子十八名)

・三年間保育のもの十五名(男子七名。女子八名)

・二年間保育のもの二十名(男子十名。女子十名)

・担任教諭 一名。

○幼児の家庭環境

・保護者の職業状態

会社員十三 住 職 一

教 員 六 銀行員 一

商 業 四

医 師 八

公 吏 二

・兄弟関係

一人っ子 五

末っ子 十八

一番上 九

兄弟のまんなか 三

××× ××× ××× ×××

○四月からの幼稚園生活状態

三年保育の男女児は昨年一年間で何とか友だちと遊ぶという事は一応できるようになり、十五名の友だちだが仲よく、遊びも三歳なりに協力して遊ぶ事ができるようになって来た。

そこへ四歳児の新入園児、男女児二十名を迎えたわけである。新入園児は生活の変化で夢中、旧園児(三年保育のもの)は二十名の友だちに圧倒され、一時は元氣も失い茫然としていたが、新入園児も幼稚園に馴れ、次第に遊びも新旧交って遊べるようになって来た。人によってはまだ旧友を固持しているものもいるが、次第に双方が歩みよって、夏休みすぎ、九月からの第二期に入っては新旧の別がわからないようになろうとしつつあるところである。

第一期はこのような状態のため、保育計画も保育内容としては社会の面に目標をおき、幼稚園に馴れ、友だちと仲よく遊び、特に新旧幼児が仲よく遊ぶという大きな目標で進んで来た。第一期末には何とかこの目標も達せられたようだったが長い夏休みをむかえ、九

月始つてみるとまた或程度逆もどりの状態で種種のトラブルも多く、脳ましい状態となつてしまつたが、遠足、運動会、八十周年のお祝いと次々の行事に日も経ち、此頃では何とか取もどした所へやつてきた。

××× ××× ××× ×××

○第二期の保育計画

・前述のように九月はじめは、長い家庭生活から一日も早く幼稚園生活へ復帰させたい。

くずれた種種の習慣も元にもどすよう生活指導をする。

・表現活動の中で特に、画く、作るという面に興味を持たせその方の指導につとめ、次第に協同作業への基をつくりたい。

・聞く、話すという面に入れて指導したい。

以上三つの目標を第二期の保育計画の目標としました。勿論この中ではどのような面でこの目標を遂行させるか、どのようにしてとのかわしい事もありますがこれは省略させていただきます。がこれもあまり細い計画は第二期のはじめに計画するのではなく、この目標のやや詳しい所位は計画しておきそれ以上は幼児の生活状態を日々観察しその変化に即応して週案、日案を計画してき、又計画していきたいと思つています。

○×○ ○×○ ○×○ ○×○ ○×○

○最近、十月の幼児の生活状態

・くずれた習慣も案外早くもどり、遊びも生活の習慣も何とか四歳児なりにできるようになった。

・遊びをみているとグループが幾つかでき、そのメンバーは殆んど

変化しない。遊びも常にそのメンバーが毎日同じ遊びをくりかえしている。その遊びの内容は少しずつ進歩している。自分が朝早く来てグループのメンバーがいないと待っているような状態である。

・遊びの種類は

ままごと（女子が多く、家が時には二軒になり、又男の人がその中に二三人は常に入っている）

積木遊び（積木の大、中、小、を全部使つて部屋中椅子（別に椅子は動かして使わない）をトンネルにして線路や駅車庫をつくりその上を木製の汽車と荷物をのせたりして走らせる。これは男子のみ。）

・まりつき（女子のみ）

・箱車で自動車又は雪車にしてお客様をのせて遊ぶ（男子、女子はお客様）

・紙飛行機とばし（男子のみ。これは常に三人のグループが固定しそこへ常に他の遊びのものが入れ変り入る。雨の日は特に多い。）

・何となく遊ぶ（これは女子だけで、あまりよく遊べない人も混っているが、遊んでいないのではなく、女の子らしく、紙でごそごそ遊んだり絵をかいたり、切ったり作ったりと静かに遊ぶ。時にはこれがままごとと関連している）

大体この遊びが固定されていて、毎日くりかえされている。まだ他の遊びは全然かというところではなく、ブランコ、ジャングル、太こ橋など遊具を使う遊び又は鬼ごっこなどはやはりこれらの相間になされている。

○このように遊びが盛んなため、遊びが活潑になった為か、前より

日によっては争が多く、同時に告げぐちも多い。結局、遊べない人が殆んどなくなったので遊具が足りなく、ゆずり合って仲々つかえずのため「誰さんが貸してくれない」とか「とってしまった」とかが常である。

○よく遊んでいるためか、私が何か仕事をしようとする誘導しても男子は殆んどのつてこない。さそっても嫌といわれてしまう。女子はその点或グループ（ままごとの人）以外は、むしろ反対に何か作りたい意欲が旺盛である。

○×○ ○×○ ○×○ ○×○

周囲の環境、状態の方が長くなってしまったがこのような最近の状態のため、種種の行事のすんだ十月からは、女子には女らしい遊び、製作、それから男の人には遊びに必要な、現在の遊びを充実させるような仕事をと計画してみた。それから又男子、女子が比較的分れて遊んでいて、遊びも分れているから、学期末には仕事を媒介に協同の仕事に誘導したいという觀察を基として計画をすすめた。

十月〇日 晴

○保育予定案

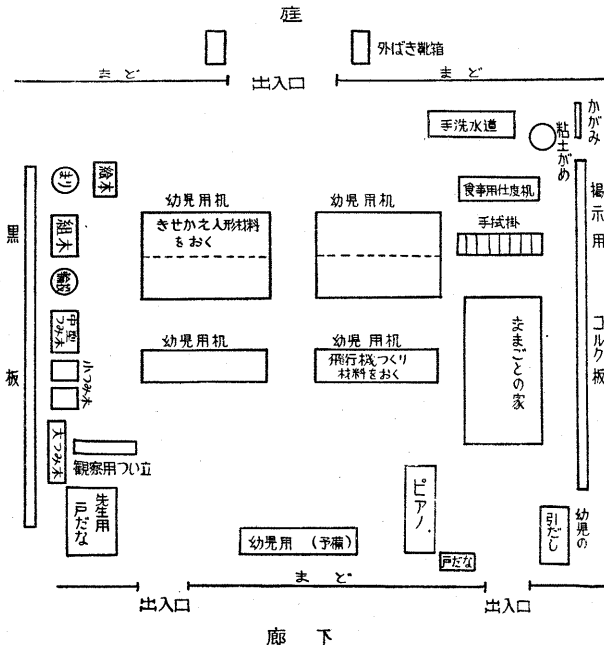
- ・ お人形させかえ遊びの人形、洋服作り。(女子)
 - ・ 紙飛行機作り (男子) (平時の飛行機遊びより取材)
 - ・ リズム「飛行機あそび」その他
 - ・ 女子と男子とは製作するものは別だが、双方とも作る事のため、自分で作ったもので遊ぶ喜びを味わいたい。
- 特に製作する時は落着いて熱心に一ししようけんめい作るとい

態度を養いたい。

○保育記

今日は朝から久しぶりに晴天で気持がよい。机や周囲をざっと掃除し、花の水をかえ、窓や入口を開き、常のように気持よく室内を整え、幼児の遊具には特に幼児のよき環境を作る為に注意して準備しておく。

●室内の準備の状態



八時四〇分頃からぼつぼつ二人と登園して来る。

部屋へ入ると先ず挨拶、それから手洗い、うがいをする。大体この習慣は言われなくても実行できるが時折、遊びに入る事で一杯で手洗い、うがいを忘れる人もいるからうながす。

来たものから、まり遊び、ままごと、積木遊びを始められる。

今まで人気のなかった部屋も次々と並べられる遊具に何か温い幼稚園らしいふんいきがকাশい出されてたのしくなる。晴天なので外へもうながす。さんさんご登園してくる。

私は準備してある机にすわり(この時外の方も見える位置に座る)用意のプリントをぬりはじめる。

と、そこへA子さん、Y子さんが「何しているの」とよってくる。

「きせかえのお人形さんをこしらえているの」「私もつくりたい」

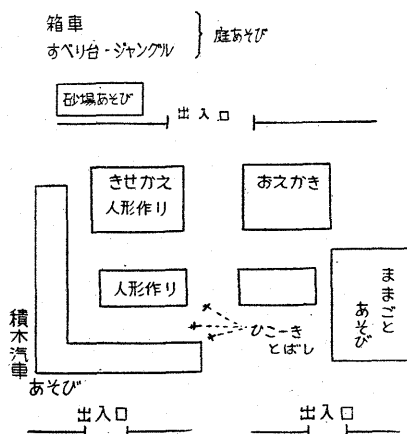
「お道具箱だけ出していらっしやい」A子ちゃんにY子ちゃんは道具箱を持って来て、お人形を作り始める。「丁ねいにぬって、かわお人形をつくってちょうだい」そこへ、

「私もやる」と又女の人がやって来て、そのグループはどんどん拡大してくる。

私は外で遊んでいる人、部屋のままごと、積木の汽車あそび(何れも前述の遊びがその日もうかえされている)を見まわりに席を立てて出かける。

ひよっとみると、隣りの机で男の人が二人で帖面を出してきておえかきをしようけんめいしている。

○四十分位後の遊びの状態



で進んでいる。のり付の事、張合せの注意を改めてする。時々男の人が何かとみによってくるが別に聞きもせず又自分の遊びをつづける。

人形作りはできたものは道具類を片づけ又他の遊びに出かけていく。グループのメンバーは又変化してき、新顔もみえてきた。先刻ジャングルの上ののっていたK子さんもいつのまにか人形作りのメンバーに加わっていた。

きせかえ人形作りも一応軌道にのったようなので、一つあいている机に私は用意の画用紙を持ってきて飛行機を作りはじめる。

男の人は一向に無関心で私の存在はみとめてくれない。先生飛行機の紙ちょうだい」と常に言いにくるとほど紙を与えそれで男の人

室内も外遊びも皆よく遊んでいたので又人形の机にもどって来た。隣の二人の人のえをみて一しようけんめい画いている事を賞めてくる。

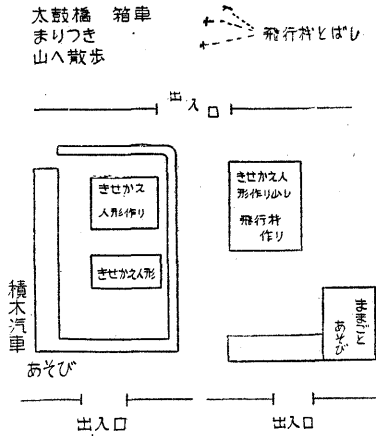
人形の仕事は大分進展して、切抜、張合せま

は飛行機を折ってとばす。それを何とか男の人にも製作の興味を引出そうと、男の人の遊びから取材したのだが仲々私の意図は解してもらえず自分の遊びに専念している。

私の作った飛行機ができ上った。とばす。先生のきれいな飛行機でしよう。『僕もその紙ほしいな』と二三人は意志表示し、作りはじめた。

この間人形作りの人も何かと種類聞きにくるのに応答する。時には席を立てて巡回も何回となくくりかえす。

○一時間半頃の遊びの状態



仕事も遊びもクライマックスに達し、部屋の中も活気盛んだ。私も飛行機を持って外へとしに出かける。外遊びを山の方まで一まわりしてみてくる。

部屋の人形作りも大体女の人

全部が参加したらしく仕事も終りの状態になってきた。

よく後かたづけ、切屑の仕末を注意して部屋をかたづけ始める。

女の人にはほしきを持って私の手伝いをしてくれる。机のまわりは大

体かたづいた。

全体の遊びをながめてみた。が、皆それぞれの部所で一しようけんめい、たのしく遊んでいる。ままごと部屋がひろくなりたのしそう、汽車遊びも長い線路で仲よく遊んでいる。外遊びも皆たのしく遊んでいる。

リズムの計画はあるが、ちょっとこれを切上げてリズムに持っていくには遊びがおいしい、飛行機遊びと関連してと考えていたが、飛行機は飛行機で外でとばして遊んでいる。

でリズムはやめる事にした。

時間も十一時三十分になったのでおべんとうの支度にとりかかる。部屋の中も皆でかたづける。

昼食

おべんとうの後は晴天なので皆外で遊ぶ

私の昼食後かたづけとしながら部屋や外の遊びを監督している。体操(午後一時頃になるとレコードがかけられ殆んど幼稚園中のものが集って幼児体操をする。

あとかたづけをして帰る。

女の人が別に遊びもなく話し合ったり、紙を切ったり遊んでいるので女の人の遊びを豊にし、製作への興味を引出し、男の人は自分たちの遊びに忙しかつたのしんでいて何か仕事する事は全然ふりむきもしない。でやはり製作する事への興味を引出すため、男の人の今一番好む飛行機を取材にしてみた。勿論此学期の目標を遂行せんために、幼児の生活の観察から編み出した保育計画で、今日一日は勿論これだけの事しかできず又、参加グループも少い所もあつ

たのでこれから日々を費いして人形遊びは、洋服、家まで、飛行機作りは、とばして遊ぶゲームと、格納庫までを予定している。今日参加しなかった人も明日、明日でなければその次と次第に参加メンバーに加わるので、幼児の遊びの中に先生の計画を折込んでいつた一日である。文字には現われなかったが、先生は常に製作の指導をしなが他の遊びの監督と、遊びの指導を常時行なっていないなければならない。その製作も遊びも常時、機会を捕えての個人指導である。そのため、先生の神経は常に忙しい。又、幼時の遊びの状態を指導しながら観察していなければならなく、観察する事が、リズムの計画を状態によりやめたりする事になり又次の日や後日の計画をする基にもしていくのである。

中 島 鈴 子

文部省より、「幼稚園教育要領」が示され、その基準が明らかにされてから半年、子ども達は、さわやかな秋風と共に心も身ものびのびと、幼稚園生活を楽しむ頃となりました。

一年或は二年の保育期間に、この「教育要領」に基づいて、当園では具体的にどのような目標をもって計画をたて、どのような保育方法、保育技術をもってゆくかということは、誠に重要なことであり、解決すべき問題が数多くあることを思います。三十一年度から担任したさくら組は、在籍四十八名中に、一年保育のはや生れの幼児（男七名・女一〇名）と二年保育のおそ生れの幼児（男一六名・女一五名）の混合したクラスであります。一学期は、このような特

殊な編成のクラスであることを念頭においてたのしい幼稚園の集団生活の中で、一人一人のより良い成長を望みながら保育いたしました。九月以来、自然の恵み豊かな絶好の保育期に子ども達の心身の発達はめざましく、その行動は心はずんだ運動会（十月十八日舉行）の前後から非常に積極的になって、心から幼稚園生活をたのしみ、グループ遊びも潑刺とつづけられて、子どもと先生、クラス全体、園全体も、びったりと軌道に乗ってきた感じが深くなってききました。十一月六日に予定した上野動物園遠足の日も近づいてきて、よろこびと期待に子ども達の目はかがやいて、逞しい生活意欲には私共が圧倒されそうです。このような、いのちの溢れる幼児の生活を、これからどのように誘導し発展させてゆくことができるでしょうか。運動会の終わった後から十一月中下旬に至る保育期には、「動物園遠足」の主題のもとに、今まで生活活動の表面に浮き上らなかった観察、言語活動、製作活動の充実に重きをおきながら、健康の増進をも計ってゆきたいと考えました。種子とり、花壇の手入れ、球根うえ、水栽培の植物の世話、などと、幼児の心を静かに自分以外の世界にも開かせて、小さい生命を愛し育てる気持、自然に対する興味や理解も幼児なりに培いたい。又同じ生命をもつ動物にも興味と関心をもたせて、保育活動を展開してゆきたいと心しました。このような生活の流れの中に十月二十六日の日案をたてたのであります。その記録をしるして、反省し、御批判と御教えを頂きたいと思えます。この日は、動物のお面を与えて自由遊びを誘導し、はじめて使う巧技台と箱積木による、協同の創作活動を主な目標としました。

十月二十六日（金曜日） さくら組日案

時分
幼児の生活活動
(予定)

▲指導の留意点と・教師の心づかい

9.00

9.40

10.00

○登園—あいさつ
持物は、カ
自由あそび—お
みこし、ひよ
たし遊び、絵
よみ板書、オル
ガン、ピアノを
ひく、なわとび
ままごと砂場あ
そび、かくれん
ぼ、英語かいせ
ん、すみ木、菊
の花製作、ラジ
オをきく、遊具
によるあそび。
先生のとつだい
花びん、水栽培
に金魚の世話や
観察、チューリ
ップの球こん植
つての準備、飾
帖のかたづけ。

・八時二〇分登園、園の内外の状況をみ
・登園した幼児の視察あいさつ。
・健康状態、心理状態のあらわれに注意
し、問題のある幼児に特にあたたい注
心やりをする。
・季節の観察物を室内外にととのえて、
幼児の目をむけるように誘導する。
・スイトビーや矢車草、なでしこの世話
昨日たねをとったサルビヤの花、ダリ
ヤ、菊の花、りんごの皮、どんぐりを
ままごとの材料にしておく。
・水栽培のクロッカス、ヒヤシンスのび
んに、子どもと黒い紙をかぶせる。
・近づいた遠足に関連して環境をととの
える。
・幼児の机に動物園グラフ、動物えほん
をおく。
・お面の入った箱を室の一隅におく。
・遠足の日までの日づけを板書しておく
・活動も、不活動で社会性もおさないう心
をほぐし、一日の生活のスタートを朗ら
かにしてやりたい。

○保育室にあつま
手洗、かたづけ、
水のみ、用便、
○当番あいさつ、
○お天気しらべ。
○出欠しらべ。
○話し合い。
○電話（森のお友
童話）

▲室内での静粛の約束を実行させる。
▲時と場所に応ずる態度を理解させる。
▲昨日したなきまねあそびによる導入、
▲話し合い、前にした童話について発表
させる。
▲森のお友達の童話によって、動物に対
しての関心をおこさせ、内容の理解に
よって、自分達の行動も反省できるよ
うにしてしむける。
・童話の中に出て来る動物の名を発表さ

十月二十六日 さくら組保育記録

時分
幼児の生活活動
(予定)

9.05 9.00

9.50

10.10 10.00

10.30

○登園
自由あそび
菊の花つくり、
ままごと、絵本
まわり、観察台の
まわりで話し合
い、人形芝居の
人形で遊ぶ。
○お面を箱の中か
ら発見して、次々
にかぶつて、大
びんが動物にな
ります。
○菊の花つくりが
つづけられ（八
人）
○砂場あそび
○（四人）
かくれんぼがは
じまる（10人位）
○保育室にあつま
るなきまねあそ
び
○当番のしごとな
きまねあそび
○ゆうぎ室にゆく
巧技台、箱つま
りリズム表現。
○休息
レコード（白鳥）
の曲をききなが
ら楽な姿勢でや

今日は、さくら組がゆうぎ室を長時間使える
日なので、上のような日案をたてました。
温度も例年より低く、どんより曇って、はだ
寒いような日で、子ども達の顔色、健康状態に
よく注意をむける必要がありました。
目の早いS君に、保育室の一隅においた動物
のお面の箱を発見されて、自然に朝の自由遊び
の中で、好きなお面をかぶつて、表現あそび、
動物ごっこがはじまり想像力たくみな会話のや
りとりや、明るい笑いさざめきの中に一日のス
タートが切られたことは幸いでした。私もとも
に遊びの中に入りながら、個々の動きを観察し
誘導しました。適当なヒントをも与えつつ、予
定した朝の生活行動をとりました。楽しい自由
なグループ遊びが続いて後、室内に入り、昨日
はじめてした「なきまね遊び」のメロデーをき
いた子ども達は「先生しようく」と、うれし
そうです。出欠をとるのに次々に「はい」「はい」
と答えた中にもいつも元気のよい返事をするM君
なのに、いるのかいないのか哀れな奇声を発し
ました。
「Mちゃん」ともう一度よんだ時、「ひっじにな
ったんだヨ」と、顔をあからめながら言うそ

1.00	12.30	12.10	12.00	11.40	11.00	10.20
<p>○ゆうぎ室にゆく</p> <p>○巧技台、箱つみ</p> <p>○鉄橋などつくる</p> <p>○リズム表現</p> <p>○動物園ゆき、動物のリズムあそび</p> <p>○動物のお面をわける</p> <p>○箱積木、巧技台をつかって、動物の小さ、巣などをつくらせてゆ</p> <p>○うぎ室であそぶ</p> <p>○巧技台で遊ぶ</p> <p>○休息</p> <p>○遊びをつづける</p> <p>○かたづけ</p> <p>○食事の用意、用便の手洗い、うがい、当番の活やく。</p> <p>○おべんとうおべんとうの片付け</p> <p>○静かな遊び</p> <p>○自由あそび</p> <p>○チューリップの球根うえ。</p> <p>○保育室にあつま</p> <p>○保育、整容。用便、かたづけ。</p> <p>○紙芝居</p> <p>○明日の話し合い</p> <p>○帰園</p>						<p>(達)</p>
<p>・昨日から約束の紙芝居をする。</p> <p>・明日のお当番の名を板書する。</p>	<p>・身なりをととのえるよう、注意する。</p>	<p>・お面つくりしたい人には、材料をあたえる。</p> <p>・出来れば皆に一球づつ植えさせてやりたい。</p>	<p>・食事、感謝をもって落ちついて頂く。</p>	<p>・食事の用意が出来たら、静かに目をつぶってまっ。一週間前からの約束を実行する。</p> <p>・休息をあたえる。</p>	<p>・教師も遊びの中に入り、動物になつて自由活動、非社会的な子どもを誘導する。</p> <p>・皆が楽しめるように協同的な態度、人に迷惑をかけるような態度を特に気をつけてレコード、ピアノなどにより、適当な休息をあたえる。</p>	<p>せる。なるべく発表力の弱い子に指名して勇気づける。</p> <p>巧技台、箱つみ木等の障害物によってリズム表現の中で運動能力の発達を図る。</p> <p>リズム表現によって楽しく遊び、表現能力を助長する。</p> <p>各自好きなお面を公平にわけて遊ぶ方法を考えさせる。</p> <p>はじめて使用する巧技台の取扱について話し合い、発表させ考えさせる態度をよしする(考えないで危いことをする人は除外する約束)</p> <p>教師も遊びの中に入り、動物になつて自由活動、非社会的な子どもを誘導する。</p> <p>自由活動、非社会的な子どもを誘導する。</p> <p>皆が楽しめるように協同的な態度、人に迷惑をかけるような態度を特に気をつけてレコード、ピアノなどにより、適当な休息をあたえる。</p>

1.00	11.20	12.00	11.55	11.20	11.00	10.50
<p>○自由あそび。</p> <p>○うぎ室での遊びのつづき、その他のあそび。</p>	<p>○自由あそび。</p> <p>○保育室にあつま</p> <p>○紙芝居</p> <p>○話し合い。</p> <p>○帰園</p>		<p>○食事の用意。</p> <p>○おべんとう。</p> <p>その他予定どおり。</p>	<p>○約束の後、巧技台箱積木で自由にあそぶ。</p>	<p>○話し合いから童</p>	<p>すみ。</p>
<p>子ども達にとって又とこない今日の一日の幼稚園生活が、その成長に役立つ日であったでしょう。</p> <p>一人一人の生活がより良い発達の道にそっていただしようか。</p> <p>子ども達と共にくらし、微力を捧げております私は、今日も明日も、祈りをもって保育にあたりたい気持ちで一杯であります。</p>						<p>のかわいいように思わず、皆大笑い。</p> <p>ゆうぎ室には予定の時間より早く行き、巧技台の枠を利用して、皆でトンネルをつくり鉄橋をつくらせて一昨日した動物園ゆきのリズム遊びに変化をつけ発展させました。童話によって導入された巧技台や箱つみ木の、こぐまさんの家づくりは、実に楽しく潑刺と遊ばれました。一部の子どもは、巧技台のバーの平均台や斜面板やマットも使って元気一杯運動して楽しそうです。</p> <p>朝からよく活動したので、予定より早めに食事にし、午後、ゆうぎ室を使う梅組に、食後も遊びをつづけてもらうようにしました。おべんとうの後、早く遊びたいというこぐまさん達に危険がないようにと指導するため、チューリップの球根うちは明日にのばす約束をしました。</p>